

小 蒙 古 御 書

安四年六月一六日 六〇歳

花 押

小蒙古の人大日本国に寄せ来たるの事

我が門弟並びに檀那等の中に、若しは他人に向かひ、<sup>はたまた</sup>将又自ら言語に及ぶべからず。  
若し此の旨に違背せば門弟を離すべき等の<sup>よし</sup>由存知する所なり。此の旨を以て人々に示す  
べく候なり。

弘安四年<sup>本禮</sup><sub>辛巳</sub>六月十六日

人 々 御 中